平成29年度　第２回下野市スポーツ推進審議会　会議録【要旨】

・日　　時　　平成30年2月16日（金）午前9時30分～11時

・場　　所　　下野市庁舎3階302会議室

・出席委員　　秋山幸男会長、増渕進副会長、大山茂委員、五月女洪委員

舘野正治委員、毛塚信夫委員、野口俊明委員、滝澤芳夫委員

・欠席委員　　黒川恵里委員

・出席職員　　池澤教育長、北條スポーツ振興課長、関主幹、大山主幹、佐藤主幹

蓬田副主幹

・傍 聴 者　　２名

○次第

　1　開　　会　　　　　　　（事務局）

2　会長あいさつ　　　　　（秋山会長）

　3　教育長あいさつ　　　　（池澤教育長）

　4　協議事項

事務局　　　それでは議題に移らせていただく。進行は秋山会長にお願いしたい。

会長　　　　それでは協議事項に入りたい。（1）平成２９年度スポーツ振興事業報告について、説明を求める。

事務局　　　（資料No.１，２，３について事務局より説明）

会　長　　 （1）平成２９年度スポーツ振興事業報告について、質問はあるか。

　　　私の方から確認したいが、栃木ＳＣを活用した市の事業、下野市民デーのチケットの利用実績は確認しているのか。

事務局　　　栃木ＳＣとは５年間の契約を結ぶことになっており、栃木ＳＣとの事業は下野市民と栃木ＳＣとの地域支援ということで、見るスポーツの機会を増やすことを考えております。

その中で、サッカー選手やＪリーガーを目指すことを理想としており、市民デーを開催することにより、サッカーにふれあう機会を与えること、その他にシティーセールスとして、商工観光課、観光協会、総合政策課との連携で下野市をアピールするということも含まれております。

　チケットの利用実績につきましては確認しております。特別席は抽選を行うほどの盛況でしたが、一般席はあまり良くない状況でした。

事務局もホームページや広報等で周知をしていますが、今後は市民デーの開催方法も含め検討していきたいと考えております。

会　長　　　今年の反省点を踏まえ、来年度は市民が参加しやすい事業を検討して欲しい。

事務局　　　検討してまいります。

会　長　　　ほかに質問はあるか。（特になし）質問が無いようなので、（２）大松山運動公園使用料改定について、説明を求める。

事務局　　　（資料No.４について事務局より説明）

会　長　　　説明のとおり、大松山運動公園使用料改定に関しては４月以降に協議を進めたいということです。（３）下野市公共施設等総合管理計画（案）の策定について、説明を求める。

事務局　　　（資料No.５について事務局より説明）

会　長　　　（３）下野市公共施設等総合管理計画（案）の策定について、質問はあるか。私の方からは、管理計画の目的は４点あるが、目的の文書としてはあまり芳しくはないのではないか、これでは目的ではなく課題を抽出しているだけ。整理をして、こういうことがあるので管理計画を行う、という記載が必要ではないか。

事務局　　　　18ページの管理計画の目的は、スポーツ振興課ではなく総合政策課が策定した市全体の目的となっており、体育施設の目的につきましては19ページ、体育施設の基本方針で３点ほど、記載しております。

会　長　　　　基本方針はこれで良いと思うが、目的が課題の抽出となっている。

委員Ａ　　　　何のために計画するのかの記載が必要では。稼働率の低い施設がある、更新時期が集中することが予想される、これはあくまで現状の課題で、目的は計画を作ることなのだから、計画を何のために作成するのか、課題を解決するために、どのような方策を練るのかを提示しないといけないのではないか。

事務局　　　　総合政策課が作成したものを抜き出して引用しています。実際には前段がありまして、計画の目的の記載がありました。

会　長　　　　スポーツ振興課としてはこういう形で行いたいと、総合政策課と協議しても良いのではないか。実際に行うのはスポーツ振興課なのだから。

　　　　　　事業年度に入っているので精査し改善できるところは総合政策課と調整し改善して欲しい。

　　　　　　また基本方針に沿った形で具体的施策を提示して欲しい。

事務局　　　　わかりました。

会　長　　　　ほかに何か質問はあるか。（特になし）質問がないようなので、５．その他に入りたい。

5　その他

会　長　　　　①平成３０年度スポーツ振興課年間行事予定(案)について、説明を求める。

事務局　　　（資料No.６について事務局より説明）

会　長　　　　年間行事予定(案)ですので、委員の皆様も特に質問はないと思いますが、審議会委員をされている以上、お忙しいとは思いますが、各種大会に参加されて、大会のあり方とか現場を見ていただいて、スポーツ振興につながるご意見をいただければありがたい。（特になし）次に、②ツール・ド・とちぎの開催について、説明を求める。

事務局　　　（資料No.７について事務局より説明）

会　長　　　　なにか質問はあるか。（特になし）質問がないようなので、ほかに全体で何か質問はあるか。

委員Ａ　　　　市民体育祭開催事業の南河内フェスティバルは、昨年が２７８名で今年は５６８名と倍になっているが、今後どのように参加人数を増やしていくのか。

現在競技種目は、球技が多いが球技以外を増やしていくのか、自治会に参加を働きかけていくのか。

事務局　　　　今年は市の重点生涯スポーツであるキンボールスポーツを取入れて実施しました、今後もキンボールやティーボール、市の重点生涯スポーツを取入れる方向で進んでいきたい。

　　　　　　　現在、大松山運動公園を整備していますし、多目的広場なども整備しているなかで、市民運動会を現在のような３地区で行うのか、１箇所で行うのかの検討も必要と考えております。１箇所で行うとなると自治会対抗でのやり方は難しいと考えております。場所の問題もありますので、市体育協会、スポーツ推進委員会等の皆さまに協力をいただきながら出来る出来ないを含めてまとめていきたいと思います。

委員Ｂ　　　　南河内フェスティバルは、少しずつ活性化している。

今年よりキンボールスポーツを加えたことにより、特に小学生は増え、大変盛況でした。

子供が参加することで、大人の応援も見受けられた、統計上の人数には入ってこないが、今後活性化していくのではないかと期待をしている。

第一歩は成功したと考えている。一度に行うとうまくいかないので、一つずつ行っていきたい。

会　長　　　　ほかに質問はあるか。

委員Ｃ　　　　大松山運動公園の陸上競技場の名称は決まっているのか。

事務局　　　　仮称ですが「大松山運動公園陸上競技場」となっております。

　　　　　　　大松山運動公園としての公園名は、変わりませんが競技場の名称は、「大松山運動公園陸上競技場」にするのか、市内で唯一の陸上競技場ですので、「下野市陸上競技場」にするのか、いろいろな考え方はあります。

県内の実例で多いのが、「○○市陸上競技場」、「○○運動公園陸上競技場」が多い状況でありますが、さくら市では、「さくらスタジアム」という名称を使用しており、変わった名称は県内ではその一つでした。

また、ネーミングライツで、陸上競技場の名前を売って収益を上げる手法もありますが、稼働率や実績等が条件になってきますので、まずはどれだけ利用者を増やしていけるのかが、課題になりますので、それも含めて名称につきましては、今後事務局内で決まりしだい、皆様方にもご意見等伺いたいと考えております。

委員Ｃ　　　　国体の前なので命名権を売ってもよいと思います、国体が終わってしまうと、売れないのではないかと。

会　長　　　　その他に質問などないか。（特になし）無いようなので、終了したい。

6　閉　　会

事務局　　　　以上で、平成29年度第２回スポーツ推進審議会を閉会します。